



Max Weber  
Stiftung

・・・・・・・・

ドイツ日本研究所（DIJ）は東京に拠点を置くドイツの研究機関です。マックス・ウェーバー財団の研究所として、ドイツ連邦研究・技術・宇宙省の資金によって運営されています。

**2026年4月1日付 事務職員1~2名募集**

**フルタイム（週40時間）**

当初は2年間の有期雇用ですが、無期雇用への転換も可能です。勤務地は東京で、募集人数は1~2名です。国際的学術交流を支え、多岐にわたる業務を通じ、日々新しい挑戦ができる職場環境です。

#### 主な業務内容

- ・ イベントの企画・運営サポート（イベントマネジメント）
- ・ 日本企業およびパートナーへの発注・調達手続きのサポート
- ・ 現地採用スタッフの人事・労務関連業務の補助
- ・ 日本の銀行手続きに関するサポート
- ・ 日本の官公庁、企業、協力機関との連絡調整
- ・ ビザ関連手続きのサポート
- ・ 設備・備品の管理および台帳管理
- ・ 来客対応および秘書業務（受付、電話対応、郵便物管理など）
- ・ 研究所の運営を支える一般事務

#### **注意事項：**

業務の分担は、応募者の資格や経験および最終的な採用状況に応じて決定し、具体的な担当業務は、提出された応募書類を踏まえた上で決定されます。上記の業務内容を網羅的に担当するわけではありませんので、応募の際はご希望の担当分野を明記してください。

## 必須条件

- ・ 日本語を母語とする方
- ・ ドイツ語および英語に関して非常に優れた能力を有する方
- ・ 一般的なオフィスソフトを問題なく使用できる方

## できれば尚可

- ・ 秘書業務・事務業務またはイベントマネジメントの経験
- ・ 学術関連機関での業務経験
- ・ 高い主体性、優れたチームワーク能力、相手に配慮した対応力
- ・ 多文化の職場環境で働く意欲
- ・ (事前調整の上) 夕方以降のイベントに柔軟に対応いただける方

## 条件・概要

- ・ フラットな組織構造と、互いを尊重し合う国際的で協力的な職場環境
- ・ 在日ドイツ大使館の現地採用職員の給与規定に基づく給与体系
- ・ 年間 24 日の年次有給休暇
- ・ 試用期間終了後、一定範囲での在宅勤務が可能
- ・ 定期的な研修・スキル向上の機会
- ・ 都心部に位置し、交通アクセスに優れた職場

マックス・ウェーバー財団は、家庭と仕事の両立を重視する、家族に優しい雇用者です。この件に関するご質問は、[gleichstellung@dijtakyo.org](mailto:gleichstellung@dijtakyo.org)までお問い合わせください。法令に基づき、同等の資格（適性・能力・専門実績）がある場合、重度障害を持つ応募者を優先的に採用します。

日本国籍を有しない方は就労ビザが必要です。就労ビザの申請については、DIJ がサポートします。税務上の理由から、応募時点で日本に居住している必要があります。

選考面接は **2026年1月19日および20日** に実施予定で、面接はドイツ語で行います。応募書類（履歴書、志望動機、資格証明書等）は一つの PDF ファイルにまとめて、ドイツ語で **2026年1月8日** までに所長のフランツ・ヴァルデンベルガー宛に、[応募プラットフォーム](#)からご提出ください。

求人内容や職務内容に関するご質問は、事務部長のエリサベト・ケラー ([koeller@dijtakyo.org](mailto:koeller@dijtakyo.org)) までお問い合わせください。